

教科書
全問題

解説冊子

未来へひろがる
数学 3

4 章 関数 $y=ax^2$

4 章 関数 $y=ax^2$

教科書
↓

3

1節 関数とグラフ 86

① 関数 $y=ax^2$ 88

② 関数 $y=ax^2$ のグラフ 91

解説

↓

2節 関数 $y=ax^2$ の値の変化 98

① 関数 $y=ax^2$ の値の増減と変域 99

② 関数 $y=ax^2$ の変化の割合 102

10

12

3節 いろいろな事象と関数 106

① 関数 $y=ax^2$ の利用 107

② いろいろな関数 108

14

15

基本のたしかめ 110

18

章末問題 111

20

千思万考 25

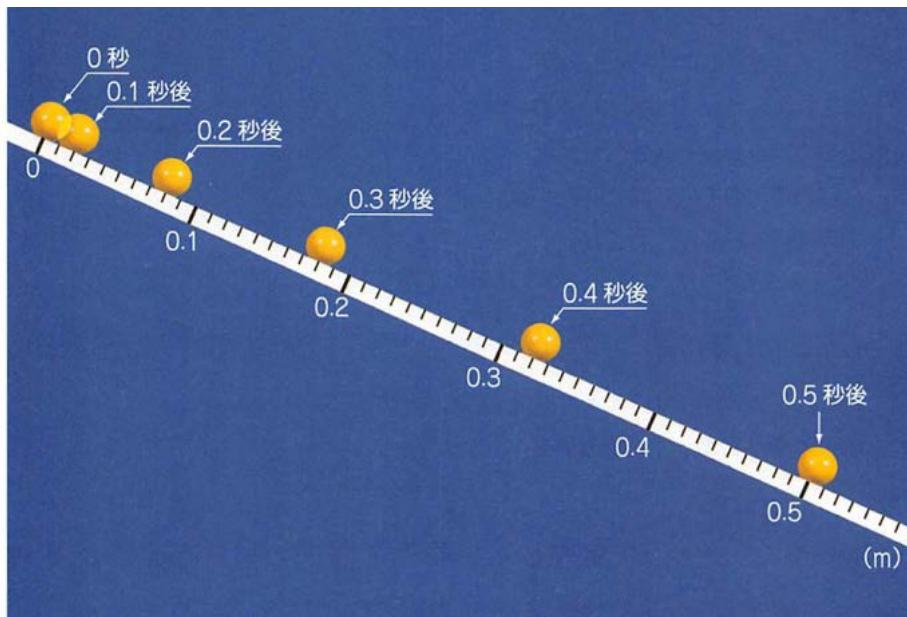
1 節

関数とグラフ

1 関数 $y=ax^2$

式が $y=ax^2$ で表される
関数について学びましょう。

P.87



この斜面で、ボールがころがりはじめてからの時間を x 秒、
その間にころがる距離を y m とします。

このとき、

x の値を決めると、 y の値がただ 1 つに決まる
ので、 y は x の関数になります。

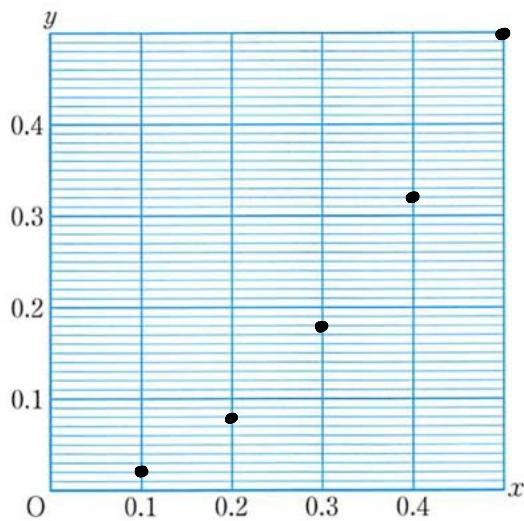
前ページの x と y の関係を、下の
表にまとめましょう。

また、つくった表をもとにして、
対応する x と y の値の組を座標と
する点を、右の図に書き入れましょう。

x	0	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5
y	0	0.02	0.08	0.18	0.32	0.50



Point
上の図の「目盛り」で
 y の値を読み取る！



左の表の y の値を
「1目盛り 0.1」と
して書き入れる。

86 ページの場面で、ボールが斜面をころがりはじめてからの

時間 x 秒と、その間にころがる

距離 y m の関係は、右の表の

ようになります。

x	0	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5
y	0	0.02	0.08	0.18	0.32	0.50



どんなことがわかるかな

上の表の x と y の関係が、
どんな式で表されるのかを考えるために、右の表に
 x^2 の値を書き入れましょう。
 x^2 と y の間には、どんな
関係があるでしょうか。

x	0	0.1	0.2	0.3	0.4	0.5
x^2	0	0.01	0.04	0.09	0.16	0.25
y	0	0.02	0.08	0.18	0.32	0.50



Point



y の値は x^2 を
「2倍」した
値にちょうど
同じに気づく！

結論

$$x^2 \text{ と } y \text{ の間には } y = 2x^2$$

$$\text{または } \frac{y}{x^2} = 2 \text{ の関係がある。}$$

問 1 次の場合、 x と y の関係を式に表しなさい。

(1) 1辺 x cm の正方形の面積 y cm²

(2) 半径 x cm の円の面積 y cm²

(1) 正方形の面積

$$= 1\text{辺の長さ} \times 1\text{辺の長さ}$$

$$\underline{y = x^2} //$$

(2) 円の面積 = 半径 × 半径 × π

$$\underline{y = \pi x^2} // \quad (\pi \text{ が前に！})$$



Point

関係を表す「公式」
は 文字式よりも
「言葉」でおさえて
おくと 文字が表す
ものを感じやすくなる！

問 2 次の場合、 x と y の関係を式に表しなさい。

(1) y は x の 2 乗に比例し、 $x = 4$ のとき $y = 48$ である。

(2) y は x の 2 乗に比例し、 $x = -3$ のとき $y = 72$ である。

(1) $y = ax^2$ に $x = 4$, $y = 48$ を代入。

$$48 = 16a \quad a = 3 \quad \text{を } y = ax^2 \text{ に代入。}$$

$$\underline{y = 3x^2} //$$

(2) (1) 同様にして

$$72 = a \times (-3)^2 \quad a = 8 \quad \underline{y = 8x^2} //$$



Point

y は x^2 に比例し

「 $y = ax^2$ 」

表すことができる。



どんなことがわかるかな

P.90

関数 $y = 3x^2$ について、下の表を完成させましょう。

また、□にあてはまる数を求めましょう。

x	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
y	0	3	12	27	48	75	108	147	192	243

$$y = 3x^2 \text{ の } x=2$$

を代入すると

$$y = 3 \times 2^2 = 12$$

結論

2倍、3倍になると、
4倍、9倍となる。

練習問題

1 関数 $y = ax^2$

① ボールがある斜面をころがりはじめてからの時間 x 秒と、

P.90 その間にころがる距離 y m の関係が、 $y = 2x^2$ となりました。

ボールがこの斜面を 18 m ころがるのに、何秒かかりますか。

② 言いかえると…。

$y = 2x^2$ の式に $y = 18$ を
代入したときの x の値を
求めなさい。

$$\begin{aligned} 18 &= 2x^2 \\ 9 &= x^2 \quad x = \pm 3 \end{aligned}$$



問題文の「値」
は、 x や y どちらの
情報かをチェック！

② 関数 $y = ax^2$ で、 $x = 2$ のとき $y = -8$ です。

P.90

(1) この関数の式を求めなさい。

(2) $x = 5$ のとき、 y の値を求めなさい。

(1) $y = ax^2$ に $x = 2$, $y = -8$ を代入。

$$-8 = a \times 2^2 \rightarrow a = -2 \quad \therefore y = ax^2 \text{ に代入して } \underline{\underline{y = -2x^2}}$$

$$(2) x = 5 \text{ に } y = -2x^2 \text{ に代入して } \underline{\underline{y = -2 \times 5^2 = -50}}$$

③

関数 $y = ax^2$ で、 x と y の関係が次の表のようになるとき、
表の空欄をうめなさい。

P.90

x	-3	0.5	1	2	③ 5
y	① 36	1	② 4	16	100

$x = 2, y = 16 \rightarrow$
を $y = ax^2$ に代入。

$$16 = 4a \rightarrow a = 4$$

とわかり、 $y = 4x^2$
となる。

① $y = 4x^2$ に $x = -3$
を代入する。

$$y = 4 \times (-3)^2 = 36$$

② $x = 1$ を代入。

$$y = 4 \times 1^2 = 4$$

③ $y = 100$ を代入。

$$100 = 4x^2$$

$$25 = x^2$$

$$x = 5$$

Point
 x と y が 反対とも
分かっている欄から
比例定数 a を求める！

2 関数 $y = ax^2$ のグラフ

関数 $y = ax^2$ をグラフに表し、
その特徴を調べましょう。

$y = x^2$ のグラフ



どんなことがわかるかな

P.91

関数 $y = x^2$ について、下の表を完成させましょう。

x	…	-3	-2	-1	0	1	2	3	…
y	…	9	4	1	0	1	4	9	…

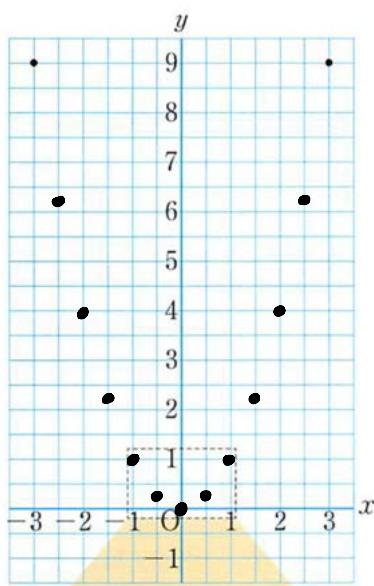
また、この表をもとにして、 x と y の値の組を座標とする点を、
下の図にとってみましょう。



問1

関数 $y = x^2$ で、 x の値を
-3 から 3 まで、0.5 おきに
とって、対応する y の値を
求め、それらの値の組を
座標とする点を、右の図に
書き入れなさい。

$$\begin{aligned} x &= \pm 2.5 & y &= (-2.5)^2 = 6.25 \\ &= \pm 1.5 & y &= (-1.5)^2 = 2.25 \\ &= \pm 0.5 & y &= (-0.5)^2 = 0.25 \end{aligned}$$



- ① $y = x^2$ の x に
「代入」すると、
 y の値が求まる。
- ② その (x, y) を
下の図にとる！

問2

関数 $y = x^2$ で、 x の値を
-1 から 1 まで 0.1 おきに
とって、対応する y の値を
求め、それらの値の組を
座標とする点を、右の図に
書き入れなさい。

$$x = \pm 0.9 \quad y = 0.81$$

$$x = \pm 0.8 \quad y = 0.64$$

$$x = \pm 0.7 \quad y = 0.49$$

$$x = \pm 0.6 \quad y = 0.36$$

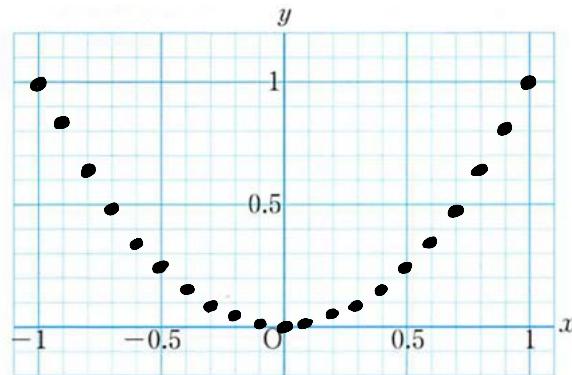
$$= \pm 0.5 \quad y = 0.25$$

$$= \pm 0.4 \quad y = 0.16$$

$$= \pm 0.3 \quad y = 0.09$$

$$= \pm 0.2 \quad y = 0.04$$

$$= \pm 0.1 \quad y = 0.01$$



「表」や「 \cup の図」
から y 軸対称になつてゐる
ことに気づくので x の値は
±①のように 正・負両方を
一度計算してみる！

■ $y = ax^2$ のグラフ



どんなことがわかるかな



問2

関数 $y = 2x^2$ について、下の表を完成させましょう。

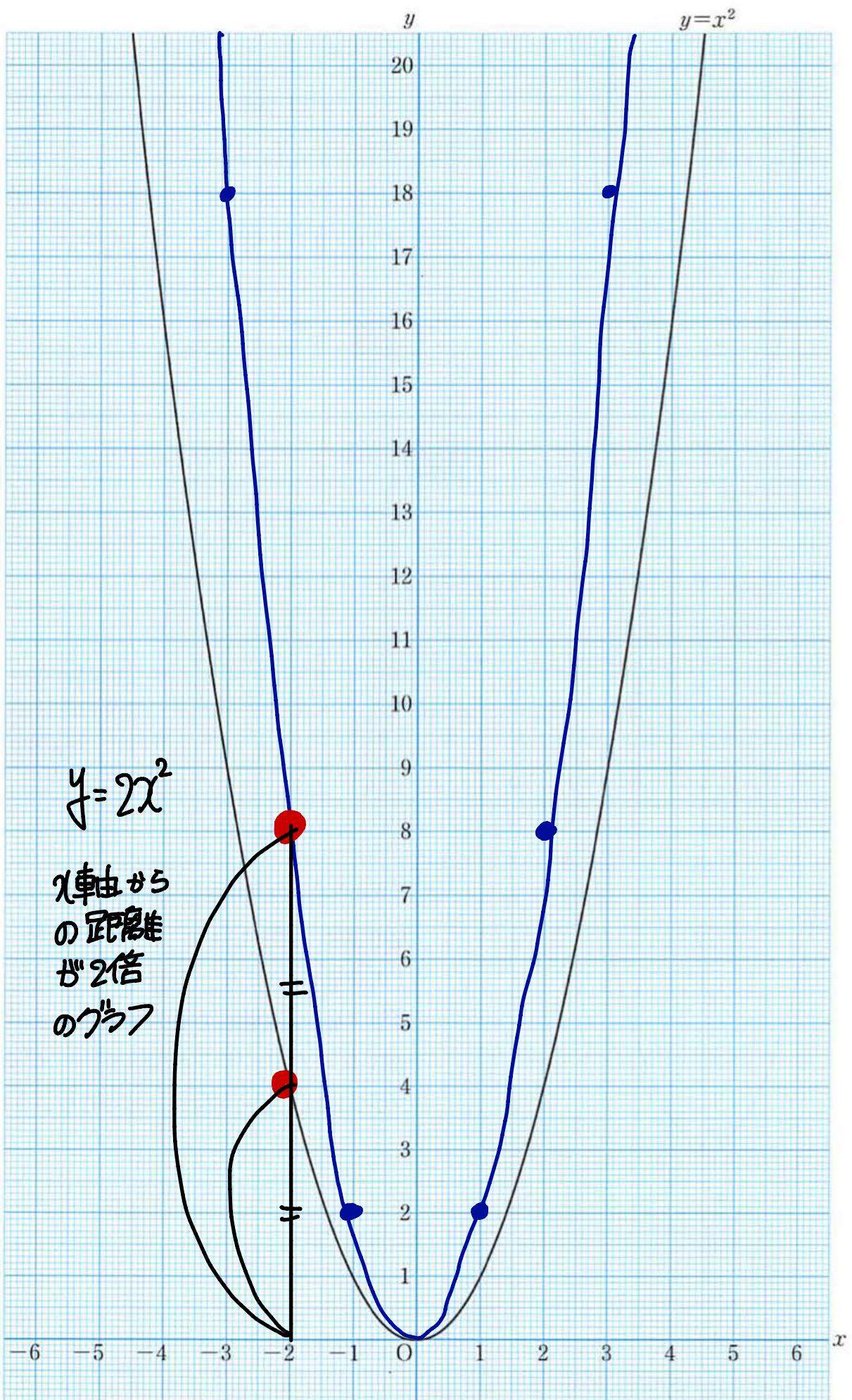
x	…	-2	-1.5	-1	-0.5	0	0.5	1	1.5	2	…
x^2	…	4	2.25	1	0.25	0	0.25	1	2.25	4	…
$2x^2$	…	8	4.5	2	0.5	0	0.5	2	4.5	8	…

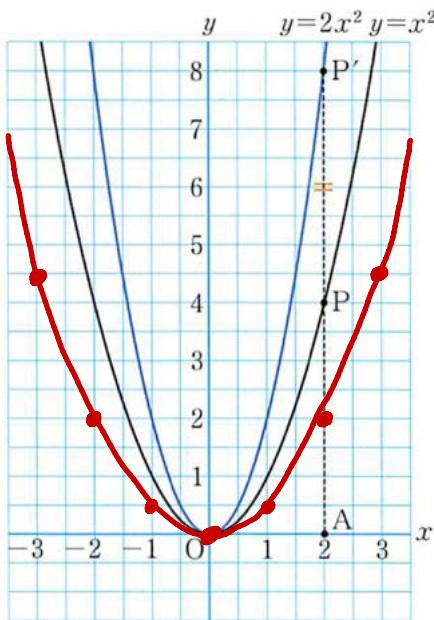
この表をもとにして、関数 $y = 2x^2$ のグラフを次のページの
図に書き入れましょう。また、このグラフと関数 $y = x^2$ の
グラフをくらべてみましょう。



「表の完成」
縦は比例定数倍
横は2乗の関係

今回の $2x^2$ の欄は
縦に見て、 x^2 の値
を2倍した値を
かけばよい。





問3 関数 $y = \frac{1}{2}x^2$ のグラフを、左の図に

(P.94)

かき入れなさい。

$$x = \pm 3 \text{ のとき } y = \frac{1}{2} \times 9 = 4.5$$

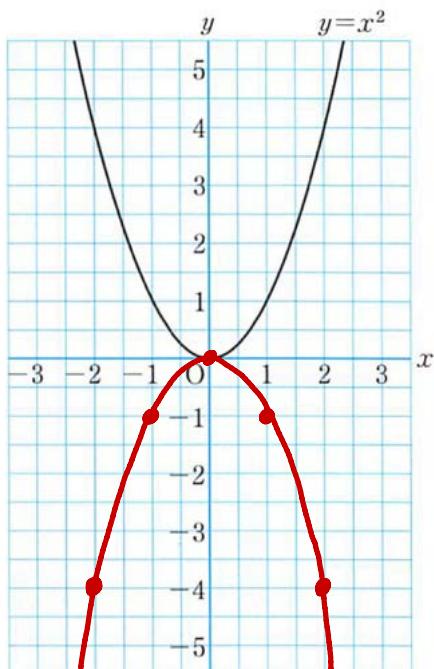
微妙なところは↑計算！



x 軸と $y = x^2$ の距離
の半分 ($\frac{1}{2}$) のグラフ
となる！

関数 $y = ax^2$ で、 $a < 0$ のときのグラフを、 $y = -x^2$ を
例にとって調べましょう。

x	…	-3	-2	-1	0	1	2	3	…
x^2	…	9	4	1	0	1	4	9	…
$-x^2$	…	-9	-4	-1	0	-1	-4	-9	…



(P.94)



どんなことがわかるかな

左の図は、関数 $y = x^2$ のグラフです。
上の表をもとにして、関数 $y = -x^2$ の
グラフを、左の図にかき入れましょう。
関数 $y = x^2$ のグラフと関数 $y = -x^2$ の
グラフには、どんな関係があるでしょうか。

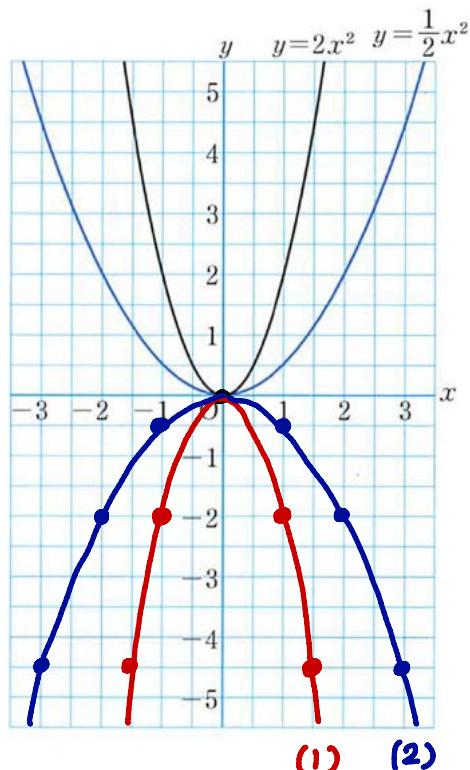
x 軸対称のグラフ
になる！

- 問4** 右の図に、次の関数のグラフをかき入れなさい。 p.210 128
 (P.96)

- (1) $y = -2x^2$
 (2) $y = -\frac{1}{2}x^2$
 (1) $(\frac{3}{2}, -\frac{9}{2}) (-\frac{3}{2}, -\frac{9}{2})$ を通る。
 (2) $(\pm 1, -\frac{1}{2}) (\pm 3, -\frac{9}{2})$

重要

「①軸対称」を利用してグラフを分くことはないので「通る点」としてかきます。



(1) (2)

自分のことばで伝えよう 😊

- (P.97) 右の図は、3つの関数

$$y = \frac{1}{4}x^2$$

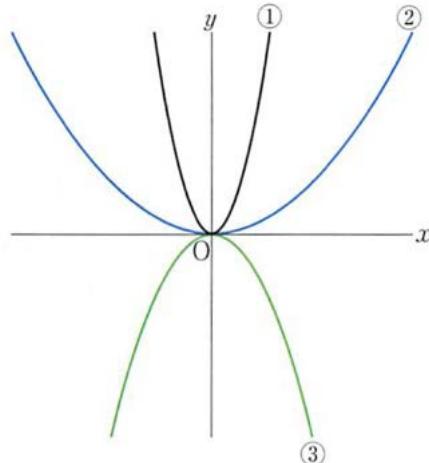
$$y = 3x^2$$

$$y = -x^2$$

のグラフを、同じ座標軸を使ってかいたものです。

①, ②, ③は、それぞれどの関数のグラフになっていますか。

また、その理由を説明しましょう。



- ① x軸の上側 (下に凸) のグラフ $\rightarrow y = ax^2 (a > 0)$
 下側 (上に凸) $\rightarrow (a < 0)$

② \hookrightarrow ①, ② は $y = \frac{1}{4}x^2$ または $y = 3x^2$, ③ は $y = -x^2$ 確定。

- ③ y軸に近いグラフ

\rightarrow 上比例定数 a が大きい

x軸

\rightarrow a が 0 に近い

\hookrightarrow ③ \circ $y = -x^2$ のグラフの開きと比較し、

$$\textcircled{1} \quad y = 3x^2 \quad \textcircled{2} \quad y = \frac{1}{4}x^2$$

2節

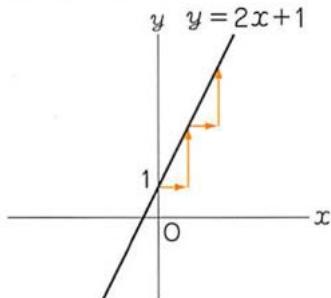
関数 $y=ax^2$ の値の変化

P.99

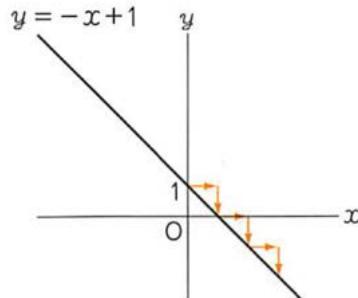
1 関数 $y=ax^2$ の値の増減と変域

関数 $y=ax^2$ の値の
変化のようすについて
調べましょう。

ふりかえり 2年



一次関数 $y=2x+1$ では、
 x の値が増加するにつれて、
 y の値は **増加する。**



一次関数 $y=-x+1$ では、
 x の値が増加するにつれて、
 y の値は **減少する。**

$y=ax+b$ の
増減のようすは
 a の値によって
決まったね



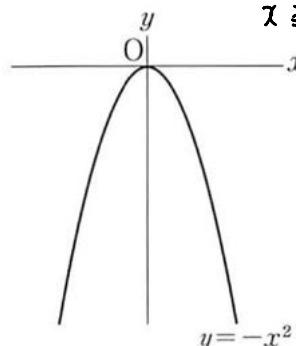
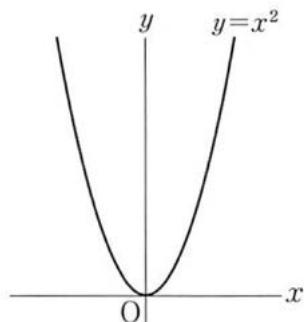
P.99



どんなことがわかるかな

関数 $y=ax^2$ の値の増減のようすについて、
どんなことがいえるでしょうか。

$y=x^2$ と $y=-x^2$ を例にとって、上の **ふりかえり** と
同じようにして調べましょう。

[$y=x^2$]

$x \leq 0$ のとき x が増加すると、 y は **減少**
 $x \geq 0$ のとき x が増加すると、 y は **増加**

[$y=-x^2$]

$x \leq 0$ のとき x が増加すると、 y は **増加**
 $x \geq 0$ のとき x が増加すると、 y は **減少**

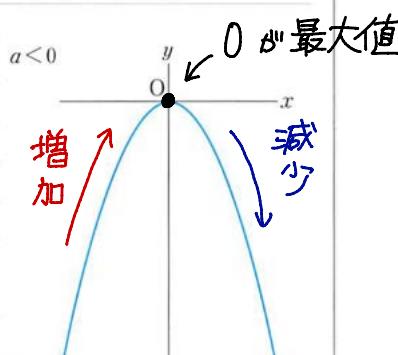
P.100

自分の考えをまとめよう

関数 $y=ax^2$ のグラフは、 $a < 0$ のとき、
右の図のようになります。

グラフから、 y の値の増減について、
次のことがいえます。

- $x \leq 0$ の範囲では、 x の値が増加するにつれて、 y の値は **増加** する。
- $x \geq 0$ の範囲では、 x の値が増加するにつれて、 y の値は **減少** する。
- $x=0$ のとき y の値は 0 で、**最大** になる。
- x がどんな値をとっても、 $y \leq 0$ である。



■ 変域とグラフ

問1 関数 $y = 2x^2$ について、 x の変域が次のときの y の変域を求めなさい。

(P.101)

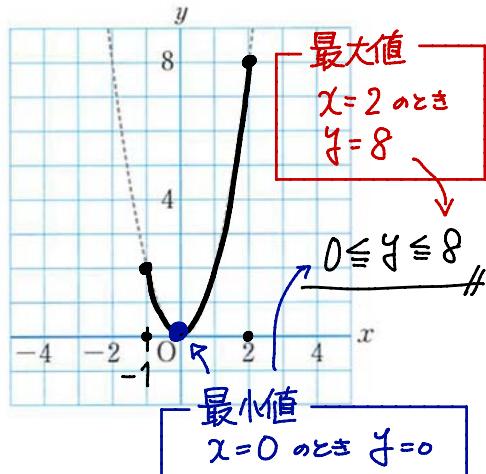
(1) $-1 \leq x \leq 2$

(2) $-2 \leq x \leq -1$

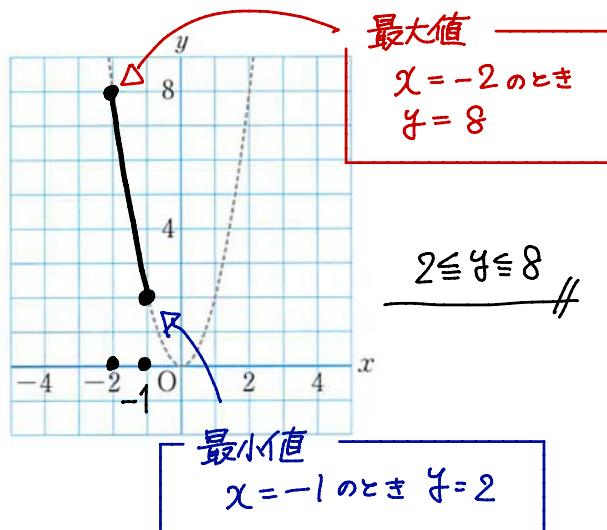


- ① x の変域のグラフをかく。
- ② 最小値、最大値を確認。

(1)



(2)



問2 関数 $y = -\frac{1}{4}x^2$ について、 x の変域が

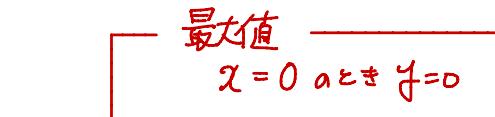
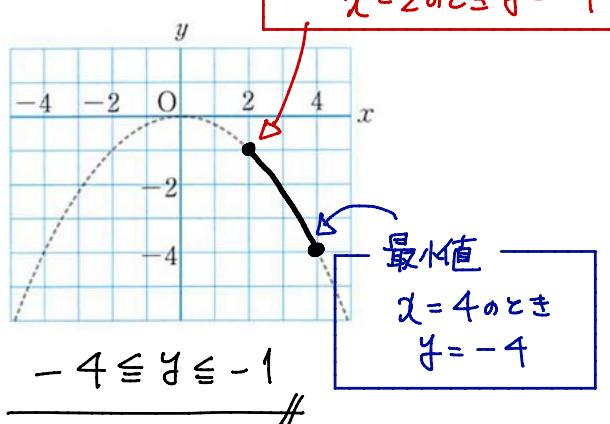
(P.101)

次のときの y の変域を求めなさい。

(1) $2 \leq x \leq 4$

(2) $-4 \leq x \leq 1$

p.210 29



注意

本来、点線のグラフは
自分でかくものなので

「格子点（ x, y 共に整数）」
の点をとてかけようようにして
おこう！



x の変域が
「原点」を含んでいる
とき、最大・最小値
を原点でとる。

2

関数 $y=ax^2$ の変化の割合

関数 $y=ax^2$ の変化の割合を調べましょう。



どんなことがわかるかな

(P.102)

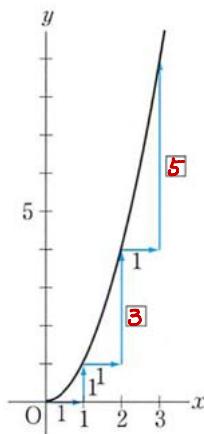
関数 $y=x^2$ について、下の表の x の値に対応する

y の値を書き入れましょう。

また、 x の値が 0 から 1 ずつ増加するときの

y の増加量を \square に書き入れましょう。

	1	1	1	1	1	...
x	0	1	2	3	4	5
y	0	1	4	9	8	10



問 1 関数 $y=2x^2$ について、 x の値が、次のように

増加するときの変化の割合を求めなさい。

(P.103)

(1) 1 から 4 まで

(2) -4 から -1 まで

$\frac{y}{x}$

$$\begin{array}{|c|c|} \hline y & 2 \rightarrow 32 \\ \hline x & 1 \rightarrow 4 \\ \hline \end{array}$$

$$\begin{array}{|c|c|} \hline y & 32 \rightarrow 2 \\ \hline x & -4 \rightarrow -1 \\ \hline \end{array}$$

$$\textcircled{2} = \frac{2 - 32}{-1 - (-4)}$$

$$= \frac{-30}{3} = -10 \quad \cancel{\text{#}}$$

$$2 \times 1^2 = 2 \quad 2 \times 4^2 = 32$$

$$\textcircled{2} = \frac{32 - 2}{4 - 1} = \frac{30}{3} = 10 \quad \cancel{\text{#}}$$



$y=ax^2$ の変化の割合

$$\begin{array}{|c|c|} \hline y & ax_1^2 \rightarrow ax_2^2 \\ \hline x & x_1 \rightarrow x_2 \\ \hline \end{array}$$

$$\text{変化の割合} = \frac{y\text{の増加量}}{x\text{の増加量}}$$

問 2

関数 $y=\underline{0}x^2$ について、 x の値が、次のように

増加するときの変化の割合を求めなさい。

(P.103)

(1) 1 から 3 まで

(2) -4 から -2 まで

$$= \frac{ax_2^2 - ax_1^2}{x_2 - x_1}$$

比例定数 a は $y = \textcircled{1} \times x^2$
より $a = \textcircled{1}$

$$(1) \textcircled{1} \times (1+3) \\ = -1 \times 4 = \underline{-4} \quad \cancel{\text{#}}$$

$$(2) \textcircled{1} \times (-4+(-2)) \\ = -1 \times (-6) = \underline{6} \quad \cancel{\text{#}}$$

重要

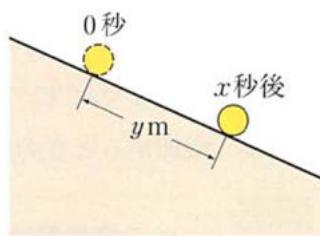
$$\begin{aligned} & \frac{a(x_2^2 - x_1^2)}{x_2 - x_1} \\ &= \frac{a(x_2 + x_1)(x_2 - x_1)}{x_2 - x_1} \quad \text{約分!} \\ &= \underline{a(x_2 + x_1)} \end{aligned}$$

比例定数 a に x の変域の和
をかけると 变化の割合が求まる!

■ 平均の速さ

例題 2 86 ページの斜面で、ボールがころがりはじめてからの時間を x 秒、その間にころがる距離を y m とすると、
P.104 $y = 2x^2$ という関係がありました。

このとき、2秒後から4秒までの平均の速さを求めなさい。



平均の速さ = $\frac{\text{転がった距離}}{\text{転がった時間}}$
(変化の割合を求める式と同じ!)

$$2(2+4) = 12 \text{ m/秒}$$

問 3 例題 2 で、次の場合の平均の速さを求めなさい。

- P.104 (1) 1秒後から2秒後まで (2) 3秒後から5秒後まで

$$2(1+2) = 6$$

$$2(3+5) = 16$$

$$6 \text{ m/秒}$$

$$16 \text{ m/秒}$$



速さの求め方の理解が大切
便利な公式の大重要な土台

■ 一次関数と関数 $y = ax^2$

自分の考えをまとめよう

P.105

	一次関数 $y = ax + b$	関数 $y = ax^2$
グラフの形	直線	放物線
y の値の増減	$a > 0$ $a < 0$ 	$a > 0$ $a < 0$
変化の割合	一定で a に等しい	一定ではない

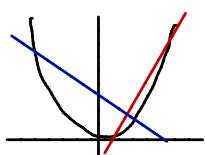


変化の割合
→

2点を結ぶ
直線の傾き

なので

比例は一定で
放物線は
一定でない。



3節

いろいろな事象と関数

1 関数 $y=ax^2$ の利用

身のまわりにある関数 $y=ax^2$
について調べましょう。

■ 制動距離

(P.107)

時速 x km で走る自動車の制動距離を y m とすると、
 y は x の 2 乗に比例することが知られています。

その関係が、

$$y = 0.006x^2$$

で表されるとき、対応する値の組は、次の表のようになります。

x	20	30	40	50	60
y	2.4	5.4	9.6	15.0	21.6

自分のことばで伝えよう

② 制動距離の差

$$30 \text{ km/h} \approx 40 \text{ km/h}$$

$$9.6 - 5.4 = 4.2 \text{ cm}$$

$$50 \text{ km/h} \approx 60 \text{ km/h}$$

$$21.6 - 15.0 = 6.6 \text{ cm}$$

速くなるほど、制動距離の増え方が大きくなる。

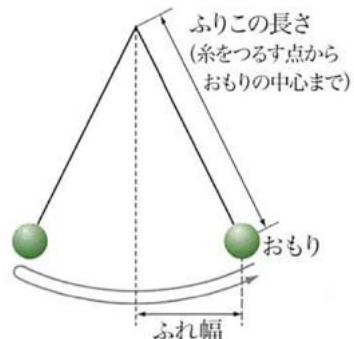
上の表で、時速 30 km と時速 40 km のときの制動距離の差を求めましょう。また、時速 50 km と時速 60 km のときの制動距離の差を求めましょう。どんなことがわかるでしょうか。

■ ふりこの長さと周期

ふりこが 1 往復するのにかかる時間は、
おもりの重さやふれ幅 $\frac{\text{はば}}{\text{はば}}$ に関係なく一定で、
それを周期といいます。

周期が x 秒のふりこの長さを y m とすると、

$$\text{およそ } y = \frac{1}{4}x^2 \text{ という関係があります。}$$



問 1 周期が 1 秒であるふりこをつくるには、

ふりこの長さを何 m にすればよいでしょうか。

(P.107)

→ $x = 1$ のとき y の値を求めなさい。

$$y = \frac{1}{4} \times 1^2 = \frac{1}{4} \quad \underline{\underline{\frac{1}{4} (0.25) \text{ m}}} //$$



文章を

「式の値」問題
に変換する力が

文章題を解く力
につながる！

問 2 次のような長さのふりこの周期は、

何秒になりますか。

(P.107)

- (1) 1 m (2) 4 m

$y = 1$ のときの x の値

$$1 = \frac{1}{4}x^2$$

$$x^2 = 4$$

$$x = 2$$

2 秒 //

$y = 4$ のときの x の値

$$4 = \frac{1}{4}x^2$$

$$x^2 = 16$$

$$x = 4$$

4 秒 //



x の値は
時間なので
「正」

2 いろいろな関数

これまでに学んだ関数とは
違う関数を考えましょう。

身のまわりへひろげよう レンタサイクルの料金

観光地などに行くと、1日でたくさんの場所をめぐることができるよう、自転車を貸してくれるレンタサイクル店が並んでいます。

A店で自転車を借りるとき、その料金は、次の表のようになっています。



時間	2時間まで	4時間まで	6時間まで	8時間まで	12時間まで
料金	600円	1000円	1300円	1500円	1800円

- 1 A店で自転車を借りる時間を
x時間、そのときの料金をy円
とするとき、xの変域によって、
yは右のように表されます。
表をもとにして、右の□を
うめましょう。

P108

$$0 < x \leq 2 \text{ のとき, } y = 600$$

$$\boxed{2} < x \leq \boxed{4} \text{ のとき, } y = 1000$$

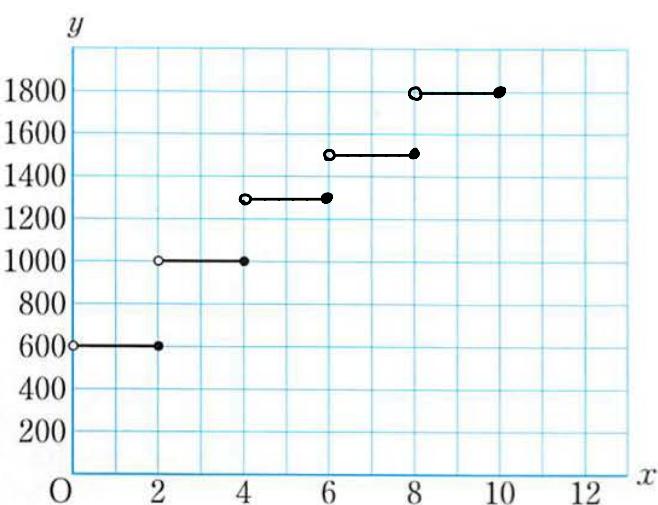
$$\boxed{4} < x \leq \boxed{6} \text{ のとき, } y = 1300$$

$$6 < x \leq 8 \text{ のとき, } y = \boxed{1500}$$

$$8 < x \leq 12 \text{ のとき, } y = 1800$$

- 2 1のxとyの関係を表すグラフを、下の図に
かき入れて完成させましょう。

P108



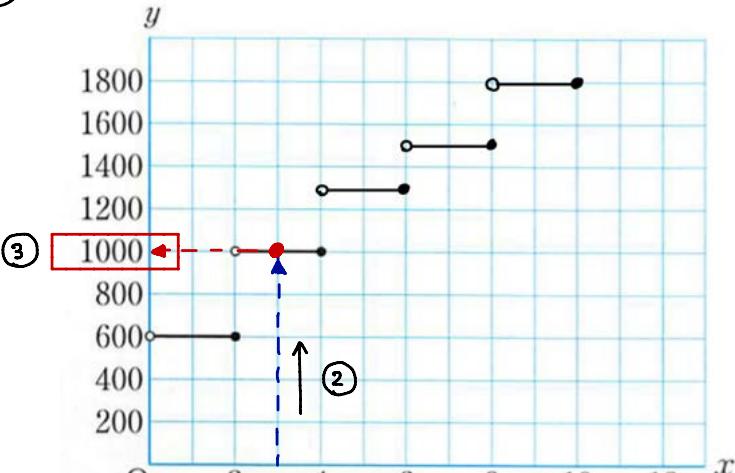
8時間を超えた
1800円なので
 $<$ = はつかない。



注 左のグラフで、端の
点をふくむ場合は・、
ふくまない場合は○
で表しています。

- 3 A店で自転車を借りてから、3時間10分後に返したとき、料金はいくらになりますか。

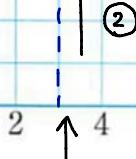
P.109



③

① 3時間10分
はここ。

1000 ←



「階段関数の読み方」

- ① x の値を問題文から読み取る。
- ② 真上にあがり、グラフとの交点の
- ③ y 座標を読む。

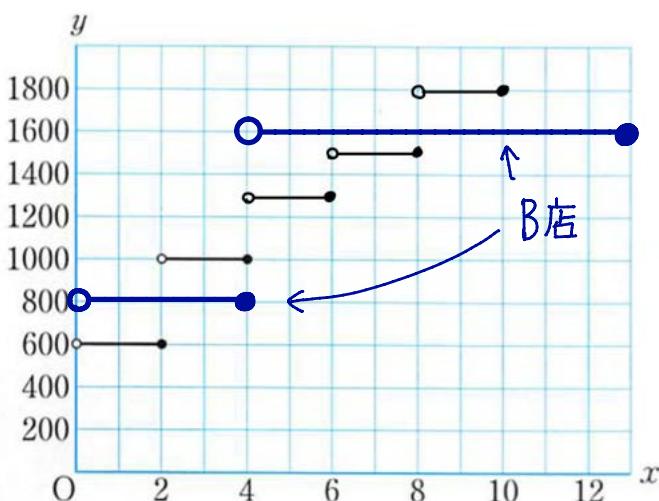
1000円 //

- 4 別のB店で自転車を借りると、その料金は、4時間までは

800円、4時間を超えると1600円となっています。

P.109

A店で自転車を借りた方が安くすむのは、どんな場合か調べましょう。



「A店の方が安い」

⇒ A店の真上に
B店のグラフがある！

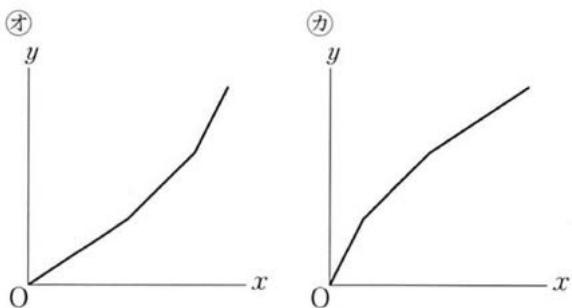
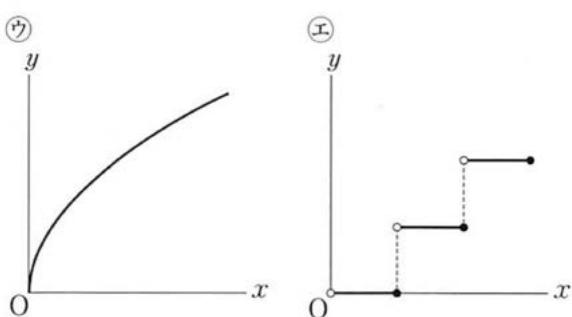
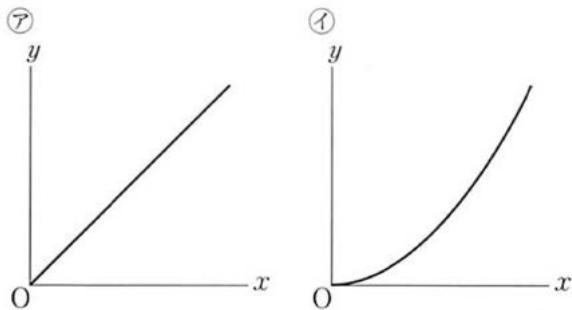
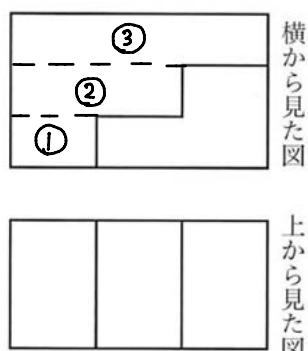
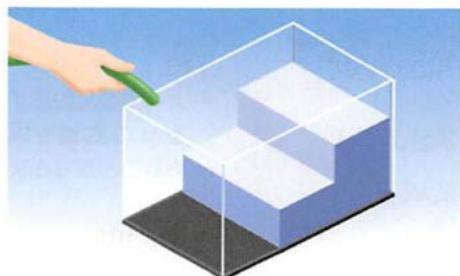
B店のグラフが上にあるところをチェック！

2時間までと4時間を超えて8時間まで //

下の図のような、底が階段状になっている直方体の水そうがあります。この水そうに、毎分同じ割合で水を入れます。

水を入れはじめてからの時間を x 分、水面の高さを y cm とすると、 y は x の関数です。

この関数を表すグラフは、右の⑦～⑩のうち、どの形で表されるでしょうか。



- ① 「横から見た図」で最初は ① に水が入る。
直方体の空間なので一定の量で水は増えるので
⑦ のような直線のグラフとなり、⑦、⑩、⑪ が候補。
- ② ①に比べて水が入る直方体は大きいので、水が増える速さは遅くなる。
- ③ ② 以上に増える速さは遅い。

} これらのことより
⑪ が答

4章の基本のたしかめ

1 ① y は x の 2 乗に比例し、 $x=3$ のとき $y=-18$ です。

P.110 ② x と y の関係を式に表しなさい。

① より $y = ax^2$ を表せる。

② より $x=3, y=-18$ を

$y = ax^2$ 代入し、

$$-18 = a \times 3^2$$

$$a = -2$$

$$\underline{\underline{y = -2x^2}}$$

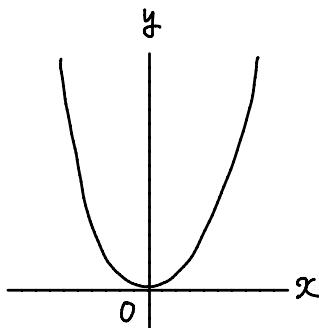


- ① y は x に 上比例 し
→ $y = ax$
- ② y は x に 反比例 し
→ $y = \frac{a}{x}$
- ③ y は x の 一次関数 で
→ $y = ax + b$
- ④ y は x^2 に 比例 し
→ $y = ax^2$

2 次の□にあてはまるものを書き入れなさい。

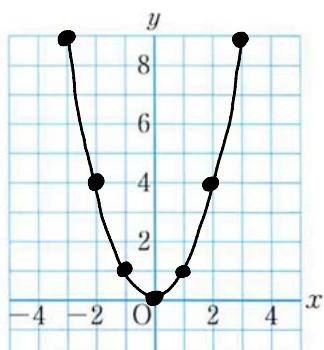
関数 $y = 5x^2$ のグラフは、上に開き、軸は y 軸、

頂点は原点である放物線になる。



$\cup \leftarrow$ 上に開いてる。
 y 軸 \leftarrow 線対称の軸なので y 軸
頂点 \leftarrow 軸と放物線の交点
(\cup \cap)

3



関数 $y = x^2$ のグラフをかきなさい。



- ① 格子点 (x, y が共に整数の点)
をとる。

* 点が少ない場合
分数となる点で
より正確にかく！

① 原点と $x > 0$ の点をとる。

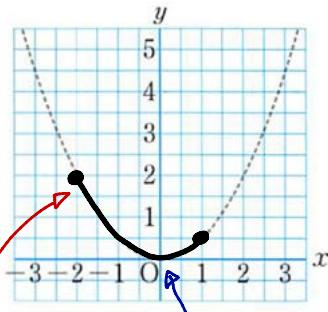
$$(0,0) (1,1) (2,4) (3,9)$$

② y 軸対称なので

$$(-1,1) (-2,4) (-3,9)$$

③ なめらかにつなげ 完成！

4



最大値

 $x = -2$ のとき
 $y = 2$

最小値

 $x = 0$ のとき
 $y = 0$

関数 $y = \frac{1}{2}x^2$ について、
x の変域が $-2 \leq x \leq 1$
のときの y の変域を
求めなさい。

式と変域だけを見て
代入して求めるミスやすい！※ 変域が原点を含む
場合注意。

5

関数 $y = 3x^2$ について、x の値が、次のように増加する
ときの変化の割合を求めなさい。

(1) 1から3まで

(2) -3から-1まで

$$\text{y} = \underbrace{3x^2}_{\text{変}} \quad \text{変} = 3 \times (\underbrace{-3 + \boxed{(-1)}}_{\text{1から3まで}})$$

 $\text{変} = 3 \times (\text{1} + \boxed{3})$

$$= 3 \times (-4)$$

$$= \frac{-12}{4}$$

公式の作られ方
をおさえよう！ $y = ax^2$ の変化の割合

$$\begin{array}{|c|c|} \hline y & ax_1^2 \rightarrow ax_2^2 \\ \hline x & x_1 \rightarrow x_2 \\ \hline \end{array}$$

$$\text{変化の割合} = \frac{y \text{の増加量}}{x \text{の増加量}}$$

$$= \frac{ax_2^2 - ax_1^2}{x_2 - x_1}$$

$$\begin{aligned} & \frac{a(x_2^2 - x_1^2)}{x_2 - x_1} \\ &= \frac{a(x_2 + x_1)(x_2 - x_1)}{x_2 - x_1} \\ &= a(x_2 + x_1) \end{aligned}$$

約分！

比例定数 a に x の変域の和
をかけると 变化の割合が求まる！

4章の章末問題

1 右の曲線は、関数 $y = ax^2$ のグラフです。

(1) x と y の対応する値を読んで、 a の値を求めなさい。

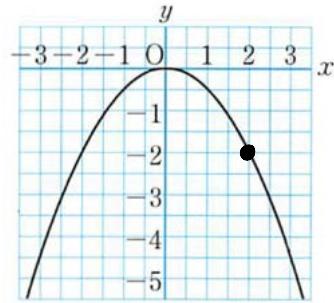
(2) $x = \frac{3}{2}$ のとき、 y の値はいくらですか。

(1) 通る1点を読み取り $y = ax^2$ に代入。

$$(2, -2) \text{ を代入 } -2 = a \times 2^2 \quad a = -\frac{1}{2} \quad //$$

(2) $y = -\frac{1}{2}x^2$ に $x = \frac{3}{2}$ を代入。

$$y = -\frac{1}{2} \times \left(\frac{3}{2}\right)^2 = -\frac{9}{8} \quad y = -\frac{9}{8} \quad //$$



格子点 (x, y が整数) が計算しやすい！

2 右の図は、4つの関数

$$\begin{array}{ll} y = -x^2 & y = -\frac{1}{2}x^2 \\ y = 2x^2 & y = x^2 \end{array}$$

のグラフを、同じ座標軸を使ってかいたものです。

①～④は、それぞれどの関数のグラフになっていますか。

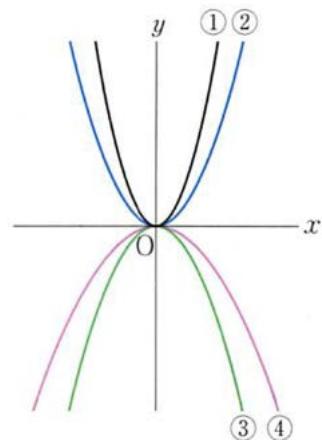
① … 上に開いているので 比例定数 $a > 0$

$$\underline{\text{② よりも開きが小さいので } y = 2x^2} \quad //$$

② … $\underline{y = x^2}$ (①より)

③ … 下に開いているので 比例定数 $a < 0$

④ … $\underline{y = -x^2}$ (③より)



④ … ③より $y = -\frac{1}{2}x^2$ //

3 y が x の 2 乗に比例し、 x の値が 2 から 4 まで増加するとき、
変化の割合が 3 となる関数の式を求めなさい。

[解法1] 公式の利用

① より $y = ax^2$ と表せる。

② より $a(2+4) = 3$

$$\begin{aligned} 6a &= 3 \\ a &= \frac{1}{2} \end{aligned}$$

$$\underline{y = \frac{1}{2}x^2} //$$

[解法2] 定義より

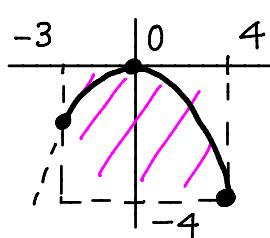
$$\begin{array}{r|rr} y & 4a & \rightarrow 16a \\ \hline x & 2 & \rightarrow 4 \end{array}$$

$$\text{④} = \frac{y \text{ の増加量}}{x \text{ の増加量}} = \frac{16a - 4a}{4 - 2} = \frac{12a}{2} = 6a$$

$$\text{② より } 6a = 3 \quad a = \frac{1}{2}$$

解法2を理解したら
1をスターしよう！

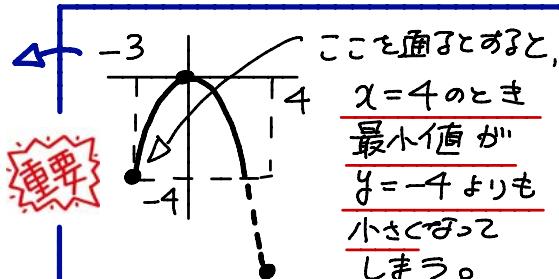
- 4 関数 $y = ax^2$ で、 x の変域が $-3 \leq x \leq 4$ のとき、
 P.111 y の変域が $-4 \leq y \leq 0$ です。 a の値を求めなさい。



- ① x, y の変域の重なる範囲でグラフが通過点の座標を見つける！
- ② $(4, -4)$ を $y = ax^2$ に代入し $-4 = 16a$
 $a = -\frac{1}{4}$

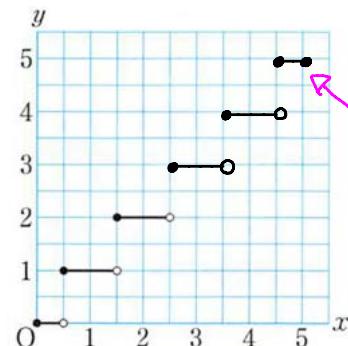


「変域問題」
 領域からグラフへ！



- 5 右の図は、 $0 \leq x \leq 5$ の数 x について、
 P.111 x の小数第1位を四捨五入した数を y と
 して、 x と y の関係をグラフに表したもので
 ものです。
 このグラフを完成させなさい。

- ① $0 \leq x < 0.5$ の場合 0 上を四捨五入すると 0
- ② $0.5 \leq x < 1.5$ の場合 1
 のように考えていくと のようになる。



問題文で
 $0 \leq x \leq 5$
 なのでここで終わり！



具体的に考えると
 グラフが描きやすい！

$$1.3 \rightarrow 1 \\ 2.0 \rightarrow 2$$

- 6 2つの関数 $y = x^2$ と $y = 6x - 1$ について、 x の値が、
 P.112 a から $a+2$ まで増加するときの変化の割合が等しく なります。このとき、 a の値を求めなさい。

(i) $y = x^2$ で a から $a+2$ まで増加するときの(変)

$$\text{(変)} = 1 \times (a + a+2) \\ = 2a + 2$$

(ii)(iii) と より

$$2a+2 = 6 \\ 2a = 4 \\ a = 2$$



変化の割合は $x=a$, $x=a+2$ のときのグラフの2点を結ぶ直線の傾きを表しているので、一次関数の場合、常に一定で傾きに等しい！

(ii) $y = 6x - 1$ で a から $a+2$ まで増加するときの(変)

一次関数は $\text{(変)} = \text{傾き} \times \text{値} + \text{切片}$
 なので $\text{(変)} = 6$

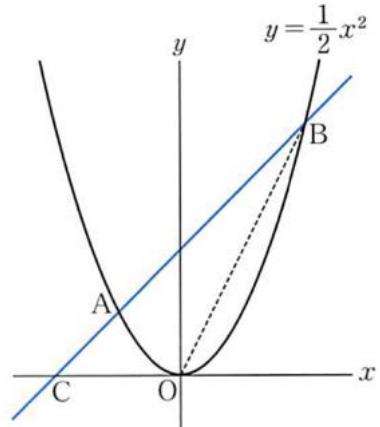
7 右の図のように、関数 $y = \frac{1}{2}x^2$ のグラフ

上に、2点 A, B があります。

A, B の x 座標が、それぞれ、 $-2, 4$ で

あるとき、次の問い合わせに答えなさい。

- (1) 2点 A, B の座標を求めなさい。
- (2) 2点 A, B を通る直線の式を求めなさい。
- (3) A, B を通る直線が x 軸と交わる点を C とするとき、 $\triangle BCO$ の面積を求めなさい。



(1) 2点 A, B の座標を求めなさい。

問題文 _____ より、

$x = -2, 4$ を

$y = \frac{1}{2}x^2$ に代入する。

$$y = \frac{1}{2} \times (-2)^2 = 2$$

$$y = \frac{1}{2} \times 4^2 = 8$$

よって

$$A(-2, 2)$$

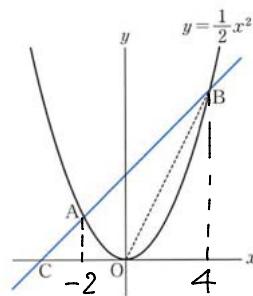
$$B(4, 8)$$



一次関数と二次関数
の融合問題

代表的な問題！

(1) (2) は 与えられなくても
必要な情報



(2) 2点 A, B を通る直線の式を求めなさい。

求める直線の式を

$y = ax + b$ とする。

① 傾き = 変化の割合

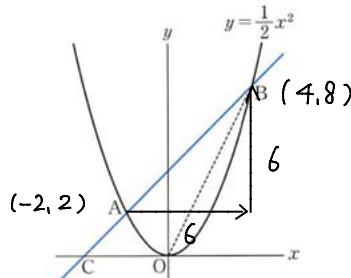
$$= \frac{y\text{の増加量}}{x\text{の増加量}}$$

$$= \frac{8 - 2}{4 - (-2)} = 1$$

② $y = ax + b$ に $a = 1$ を代入して $y = x + b$

B(4, 8) を代入して $8 = 4 + b$, $b = 4$

$$y = x + 4$$



(P.112)

(3) A, B を通る直線が x 軸と交わる点を C
とするとき, $\triangle BCO$ の面積を求めなさい。

$$\textcircled{①} \quad \Delta BCO = \text{底辺} \times \text{高さ} \times \frac{1}{2}$$

$$= CO \times BB_H \times \frac{1}{2}$$

② CO の長さを求めるために
x 軸と $y = x + 4$ の交点を求める。

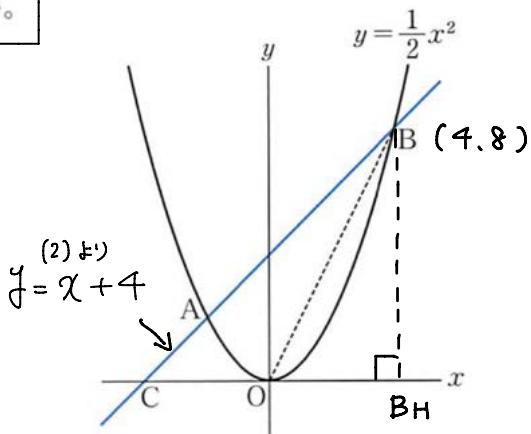
$$\begin{cases} y = 0 \\ y = x + 4 \end{cases} \rightarrow \begin{cases} x = -4 \\ y = 0 \end{cases} \quad C(-4, 0)$$

(2)より

$\therefore CO = 4$

③ BH は B からの垂線の長さであり
 B の y 座標 $=$ 等しい。 $BB_H = 8$

$$\Delta BCO = 4 \times 8 \times \frac{1}{2} = 16$$



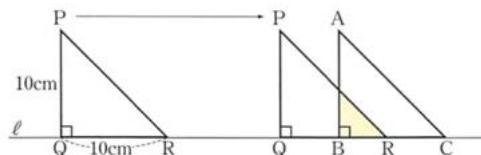
AB と x 軸の交点 C は
x 軸 … $y = 0$ なので

$\begin{cases} y = 0 \\ y = x + 4 \end{cases}$ を解いた解が
座標 $= (-4, 0)$ ！

8 下の図のように、直角をはさむ2辺の長さが、

それぞれ10cmの合同な2つの直角二等辺三角形
 $\triangle ABC$ と $\triangle PQR$ があります。

$\triangle PQR$ は、直線 ℓ にそって矢印の方向に毎秒2cmの速さで動いていきます。



(1) 点Rが点Bの位置にきたときからx秒後の $\triangle PQR$ と $\triangle ABC$ が重なった部分の面積を、 $y\text{ cm}^2$ とします。

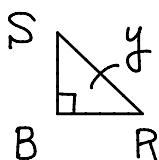
点Rが点Bから点Cまで動くとき、 x と y の関係を式に表しなさい。

(2) (1)の関数のグラフをかきなさい。

(3) (1)の関数について、 y の変域を求めなさい。

(1) 点Rが点Bの位置にきたときからx秒後の $\triangle PQR$ と $\triangle ABC$ が重なった部分の面積を、 $y\text{ cm}^2$ とします。

点Rが点Bから点Cまで動くとき、 x と y の関係を式に表しなさい。



① 2cm/秒で“Pは動く”

$$BR = 2x \text{ cm}$$

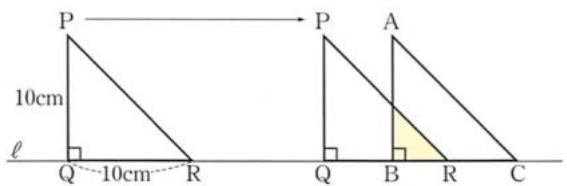
② $SB \neq 2x \text{ cm}$ ($PQ = QR$ より)

$$\textcircled{3} \quad y = BR \times SB \times \frac{1}{2} = 2x \times 2x \times \frac{1}{2} = 2x^2$$

④ RがCに重なるまでの時間は

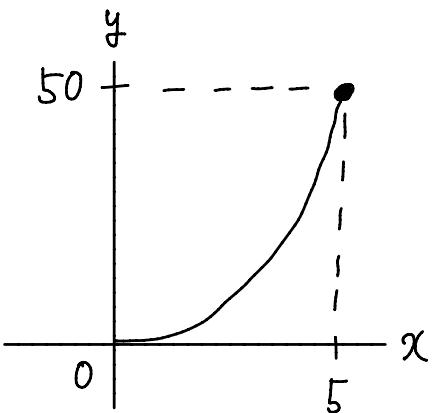
$$2\text{cm/秒} \text{ で } BC = 10\text{ cm} \text{ より } 10 \div 2 = 5\text{ 秒}$$

$$\textcircled{5} \quad \underline{y = 2x^2 \quad (0 \leq x \leq 5)} //$$



(2) (1)の関数のグラフをかきなさい。

(3) (1)の関数について、 y の変域を求めなさい。



左のグラフから

$$\underline{0 \leq y \leq 50} //$$

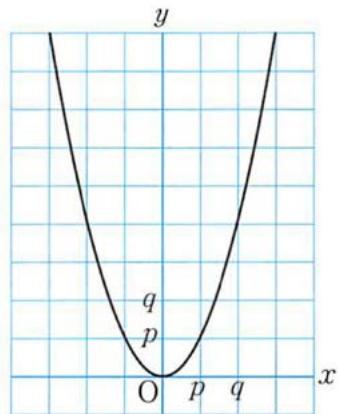


2次関数は通る1点、がわかられば式・グラフが1つになります！

目もりのとり方とグラフ

P113

右の図は関数 $y = ax^2$ のグラフです。
x 軸と y 軸の目もり p, q は、それぞれ同じ値を示しています。



1. p の値が 1 であるとき、これはどんな関数のグラフでしょうか。
2. q の値が 1 であるとき、これはどんな関数のグラフでしょうか。
3. これが $y = 5x^2$ のグラフであるとき、 p の値はどうなるでしょうか。

1. p の値が 1 であるとき、これはどんな関数のグラフでしょうか。

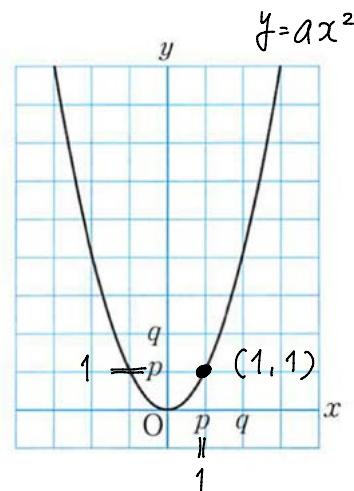
① 問題文より $p=1$ とわかる。

$$p=1 \text{ と } y = ax^2 \text{ に代入。} (1, 1)$$

を通ることがわかる。

② $x=1, y=1$ を $y = ax^2$ に代入。

$$1 = a \times 1^2 \rightarrow a = 1 \quad \underline{y = x^2} \quad \cancel{\text{#}}$$



2. q の値が 1 であるとき、これはどんな関数のグラフでしょうか。

① $q=1$ すると、A の x 座標は 1

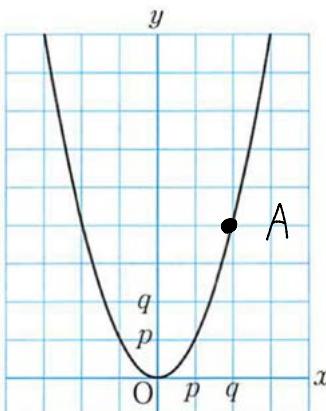
y 座標は y 軸上の q が 2 もり

で 1 + 1 で A の y 座標は 2

わかる。つまり A(1, 2)

② $y = ax^2$ に A(1, 2) を代入。

$$2 = a \times 1^2 \rightarrow a = 2 \quad \underline{y = 2x^2} \quad \cancel{\text{#}}$$



3. これが $y = 5x^2$ のグラフであるとき, p の値はどうなるでしょうか。

④ $y = 5x^2$ のグラフは (P, P) を
通るので $x = P$, $y = P$ を
 $y = ax^2$ に代入。

$$\begin{array}{l|l} \textcircled{4} \quad P = 5P^2 & P = 0, \frac{1}{5} \\ 5P^2 - P = 0 & P = 0 \text{ はグラフが} \\ P(5P - 1) = 0 & \text{かけないので} \\ & P = \frac{1}{5} \end{array}$$

